

『一心千里』

永田隆一

走って見れば、
見えてくる



第102回

最近、中国の凄まじい勢いを肌で実感します。

筆者は大阪の定宿をミナミ（心斎橋）、難波、日本橋」と決めていました。中国からの旅行者は家族大勢で来ます。フェリーとバスが多いようです。フェリーだと荷物制限がないことが理由のようです。

（岩国哲人さんの戦略）

筆者は13年前、衆議院議員の岩国哲人さんに手紙を書き、筆者主催の勉強会80人（？）でほぼ講演していただきました。

「米国・中国は凄まじい勢いで紙幣を印刷している。民主党が政権を取っ

たら、紙幣の印刷機をフル回転して、ばら撒いて、円安と適度なインフレを

たのが理由です。（国家資本主義）

大阪道頓堀のほとりで感じる

中国人観光客の自信の背景

実現させます。1万円の内製コストは5円です（一）。

そして、民主党が政権を取りました。大いに期待したのですが、一向に紙幣印刷戦略が実現しませんでした。民主党議員が多額の講演会での話をしており、米国から「印刷はやめなさい」と強烈なアラフ（脅し）をかかけられ

築中です。イントロン（無錫）月産12・5万枚、Y M T C（武蔵）10万枚、S K（無錫）10万枚……、すべて3000円です。計画の処理枚数合計は月産76・5万枚。現在、世界で生産されるシリコンウエハは月産550万枚です。から14%に相当します。

分の1でありませう。といふことは、中国は1000万円のコストの紙幣を振り絞って、1000億円の半導体工場を建設できるのであります。「貨幣価値が暴落するのでは」と常識人なら考えますが、心配ご無用。国家資本主義は人民元を米ドルにベッグする戦略

（中国の人材育成）
中国では、優秀な起業家が起業したいと活を募集すれば、地方政府も含めて検討後、スペシャリストを多く派遣します。北京の知り合いは、資金が3億円ほしいと政府に言ったところ、10倍の30億円出資してくれました。20億円はビルを建て、店子から家賃を取りながら、10億円て事業に取り組んでいます。

（春が来れば……）
リスクを抱えながらも成長する中国。米国では、リスクマネーを活用して、民間企業が凄まじい努力をしています。ゴールドマン・サックス社は、トレーダーを6000人解雇して、人工知能（AI）

政治学者のイアン・ブレマーは中国を「国家資本主義」と呼び、国家（共産党）が経済を握るパワーを備ってはならないと警鐘を鳴らしています。米国で経済を握っているのは民間企業であり、米国の弱点を指摘しています。

現在、中国で新しく半導体製造工場が13工場建設

IMFによれば、2016年のGDPは米国18・6兆ドル、中国11・2兆ドル、日本4・9兆ドル。2年前に日本は中国の経済規模の半分以下になっていたのであります。

（中国のインフラ）
日本の新幹線の総距離は3000km、中国は2万2000km、日本の高速道路の総距離は1万1000km、中国は13万km。米国が過去100年で使

（春が来れば……）
リスクを抱えながらも成長する中国。米国では、リスクマネーを活用して、民間企業が凄まじい努力をしています。ゴールドマン・サックス社は、トレーダーを6000人解雇して、人工知能（AI）

（春が来れば……）
リスクを抱えながらも成長する中国。米国では、リスクマネーを活用して、民間企業が凄まじい努力をしています。ゴールドマン・サックス社は、トレーダーを6000人解雇して、人工知能（AI）

紙幣のコストは日本の5

（中国のインフラ）
日本の新幹線の総距離は3000km、中国は2万2000km、日本の高速道路の総距離は1万1000km、中国は13万km。米国が過去100年で使

（春が来れば……）
リスクを抱えながらも成長する中国。米国では、リスクマネーを活用して、民間企業が凄まじい努力をしています。ゴールドマン・サックス社は、トレーダーを6000人解雇して、人工知能（AI）

（春が来れば……）
リスクを抱えながらも成長する中国。米国では、リスクマネーを活用して、民間企業が凄まじい努力をしています。ゴールドマン・サックス社は、トレーダーを6000人解雇して、人工知能（AI）

（毎月連載）